

市内の放射線量測定結果(第二報)

11月7日に実施した測定において、高階第二保育園で通常より高い放射線量の地点が見つかりました。その結果と、対応後の測定値を報告します。

環境保全課 ☎224・5894

●結果と対応について

これまでの調査で比較的高い数値が出た雨どいの下などを中心に、測定しました。

三十四地点で測定を行い、地上5cmでは、市の暫定目安より高い場所が九か所、地上50cmでは、一か所ありました(上表②)。地上5cmでも高い2・22μSv/h(マイクロロシベルト毎時)を計測した地点は、園舎西脇雨どい下の芝でした。直ちに、園舎裏を立ち入り禁止とし、九か所の芝や泥などの除去を行いました。対応後、放射線量は暫定目安以下の状態になりました。

●今後の予定について

全市立学校・全市立保育園および大規模公園の詳細測定を、11月の完了を目指し測定を進めています。

測定結果については、環境保全課(本庁舎五階)で見ることが出来ます。また、広報川越および、市ホームページでお知らせし、各施設に掲示します。

(仮称)障害者支援計画原案に対する意見募集

障害者福祉課 ☎224・5785

Fax 225・3033

市では、「(仮称)川越市障害者支援計画」の策定を進めています。より良い計画とするため、同計画の原案に対する意見を募集します。

閲覧・募集期間：12月19日(月)まで

閲覧場所：障害者福祉課(本庁舎一階)・出張所・連絡所・公民館・図書館・みよしの授産学園・障害者就労支援センター・職業センター

対象：市内在住・在勤・在学

意見の提出方法：任意の用紙に意見と、住所・氏名・電話番号・性別・年齢・在勤・在学の方は勤務先・学校名を明記し、〒350-8601川越市役所障害者福祉課(ファクス可)

*市ホームページでも、閲覧・意見の提出ができます。

意見の取り扱い

提出された意見は、今後の計画策定の参考にします。また、意見の内容と意見に対する市の考え方を公表します。類似の意見は取りまとめて公表し、個別の回答は行いません。なお、個人情報公表しません。

●測定内容について

測定時期…11月7日

測定機器…環境放射線モニターPA-1000 Radi(シンチレーション式)

①測定結果の概要

(単位：μSv/h)

施設名	測定か所数	地上5cm			地上50cm		
		暫定目安	平均値	測定値	暫定目安	平均値	測定値
高階第二保育園	34	0.30	0.28	0.05~2.22	0.25	0.10	0.05~0.34

②測定値の高かった場所の対応状況

(単位：μSv/h)

測定地点	地上5cm		地上50cm	
	測定値	対応後	測定値	対応後
園舎西脇の雨どい下の芝	2.22	0.16	0.34	0.13
園舎北側の雨どい下の土A	0.95	0.13	0.18	0.10
園舎北側の雨どい下の土B	0.90	0.15	0.23	0.12
園舎西脇の雨どい下の土A	0.88	0.18	0.20	0.12
園舎西脇の雨どい下の土B	0.70	0.13	0.15	0.10
園舎北側の雨どい下の土C	0.59	0.16	0.15	0.10
園舎北側の雨どい下の土D	0.51	0.18	0.18	0.12
自転車置き場の雨どい下の土	0.40	0.12	0.11	0.07
園舎西脇の雨どい下の土	0.31	0.17	0.12	0.10

注)市の暫定的な対応の目安について

市では、日常生活において目安とする数値を、子どもが生活する高さである地上50cmとしました。また、地面に近い位置で活動する砂場・芝生広場は、地上5cmとしました。

暫定目安の0.25μSv/hは、国際放射線防護委員会(ICRP)が示した一般の人が1年間に受ける放射線量の限度である年間1mSvを時間換算した0.19μSv/hに、自然放射線(原発事故前の県内最大値=0.06μSv/h)を加えたものです。